

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.40	-	-		3.2
1 音環境		3.0	0.15	-	-		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-		
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-		
1 室温		3.0	0.60	3.0	-		
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-		3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-		
1 昼光率	昼光率は2.5%以上である	5.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境		3.5	0.25	-	-		3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の内装材をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.3
1 機能性		3.3	0.40	-	-		3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-		
3 内装計画		3.0	0.50	-	-		
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	内壁面は防汚性の高い建材、塗装を採用している	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	トイレ毎に清掃流しを設置している	4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.5	0.30	-	-		3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	構造体Ⅱ類の仕様なので、重要度係数=1.25である	4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	普通教室: 床ビニル床シートt2.5、壁塗装(PBt12.5)、天井岩綿吸音板t12(PBt9.5)	5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管VLP(B)、汚水排水管VP(B)、雑排水管VP(B)を使用、Eは不使用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		階高3.7m~3.9m	4.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		周辺建物から突出しない低層の建物、無彩色の外壁、建物周囲の緑化	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.5</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.74	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> =0.77、LED照明を導入	<b>3.3</b>	0.50	-	-	<b>3.3</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓に加えて節水型便器を採用している	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>3.7</b>	0.60	-	-	<b>3.7</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		陶磁器質タイル(内装床)、ビニル系床材(内装床)、プラスチックデッキ材(外装床)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテールとGL工法を採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>2.9</b>	0.20	-	-	<b>2.9</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法に該当しない建材種別が1つある	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>2.5</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=90%	<b>3.3</b>	0.33	-	-	<b>3.3</b>
2 地域環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.60	-	-	
2 砂塵の抑制		砂塵のたたないゴムチップ舗装としている	5.0	0.20	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	